

おおきな
クリエイトと
ちいさな
クリエイト



『にぎやかな ようちえん』

あるまちに、にこにこえがおが いっぱいの
たのしいようちえんが ありました。

すぐとなりでは、
なにやら おおきな こうじが はじまって...

「なにが できるのかな？」

「どんなおみせかな？」

こどもたちは まいにち、
わくわくしながら のぞいていました。



『てんちょうさんが やってきた!』

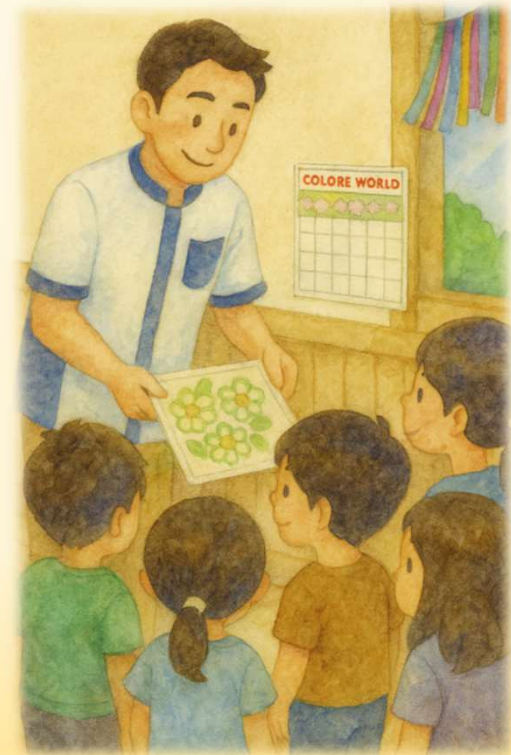
あるひのこと。

ようちえんに、やさしそうな おにいさんが やってきました。

「こんにちは。もうすぐここに、
“クリエイト”という おみせができます。
よかったら、みんなの ぬりえを
おみせに かざらせてくれないか？」

それが—

こどもたちと クリエイトの
たいせつな ごえんの はじまりでした。



※クリエイトでは、まいつき ぬりえをプレゼントしています。
ぬってくれた絵は おみせにかざって、あとでたいせつにおかえしします。

『だんぼーるのショベルカー』

あるひ、こどもたちは
だんぼーるで ショベルカーをつかって あそんでいました。

「ががががーっ！」

「よいしょ、よいしょ！」

それをみた せんせいが ぽつり。

「それって、
こうじてたときのクリエイトに にてるね」



『クリエイト、つくっちゃおう!』

「じゃあさ、つくっちゃおうよ!クリエイト!」

こどもたちは きらきらおめめで、
いっせいに つくりはじめました。

やさい、アイス、おかしに おくすり——
おみせのなかに あったもの、なんだったかな?

はさみで チョキチョキ、テープで ペタペタ。

おへやのなかに、すこしずつ おみせが できていきます。



『もうひとつの クリエイト』

そんな うわさをきいて、
てんちょうさんが また やってきました。

おへやいっぱい ひろがっていたのは—

もうひとつの クリエイト!

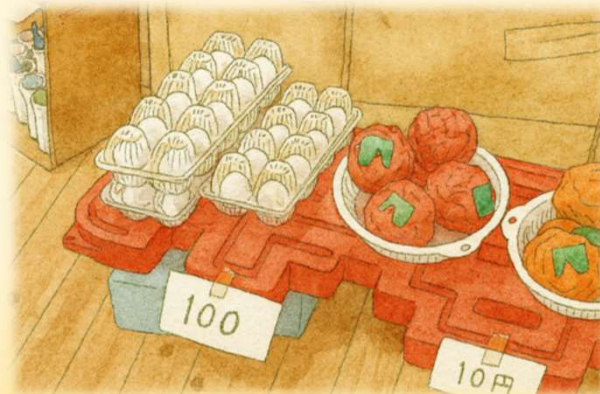
かんばんも、かごも、うりものも、
ほんものみたい!



「わあ…すごいね!」

「ありがとう。ほんとうにありがとう!」

てんちょうさんのむねのなかは、
うれしいきもちで いっぱいになりました。



『おかいものたいけん!』

しばらくして。
てんちょうさんは
ありがとうのきもちをこめて、
また ようちえんに あそびにきました。

おみやげは、かんしゃじょうと、
みんなのだいすきなジュース!!

そして はじまったのは——
ようちえんのクリエイトで、おかいものたいけん!



『いらっしゃいませ!』

「いらっしゃいませ〜!」

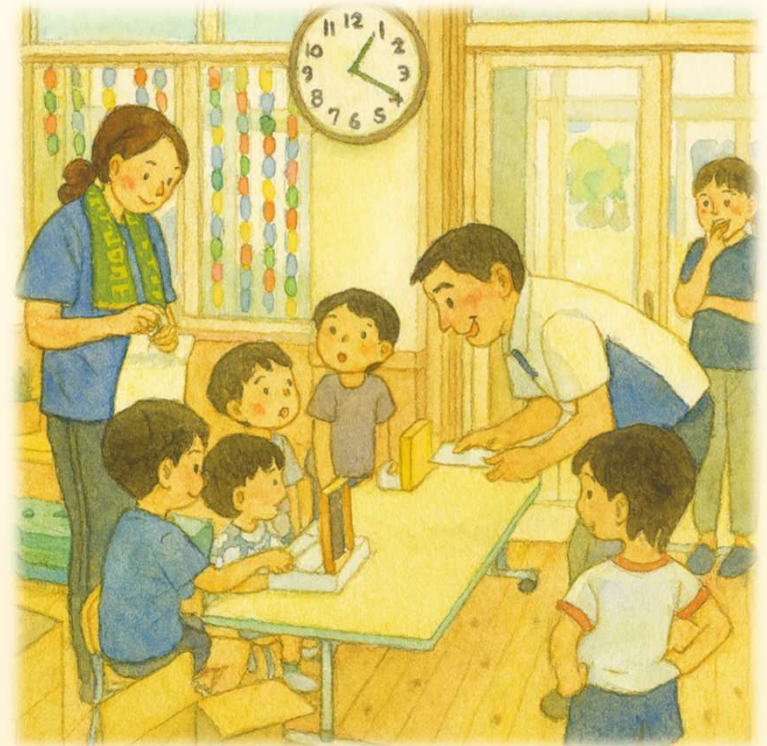
「100えんです!」

「ありがとうございました〜!」

こどもたちは、まるで
ほんものの てんいんさん。
あいさつも、おかいけいも、ばっちりです!

おきやくさまも、にこにこ えがお。

てんちょうさんのところは、ぽっかぽか。

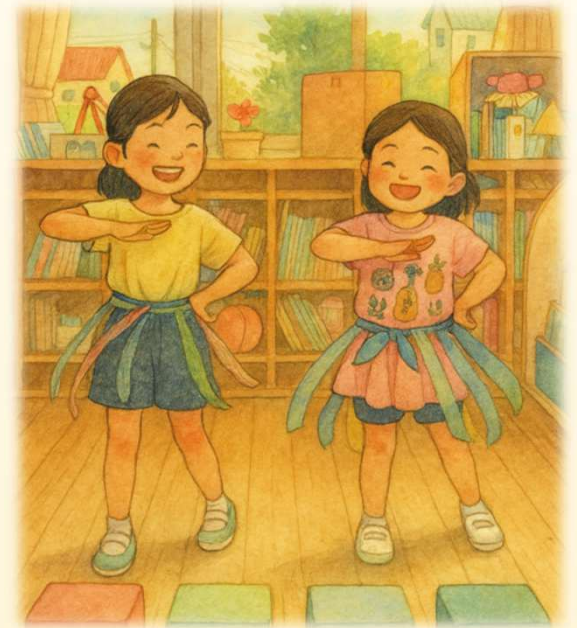


『たいせつな たからもの』

おかいもののあとは、
かわいくて げんきいっぱい、
フラダンスショー！

てんちょうさんのところに のこったのは、
こどもたちのえがおと、つながりの よろこび。
「このえがおが、いちばんの たからものだなあ」

ちいさなクリエイトは、
ここを おおきくうごかす
たいせつなたからものに なりました。



～おわりに～

これは、ほんとうにあった、
おおきなクリエイトと ちいさなクリエイト のおはなし。
こどもたちの えがおと、てんちょうさんの ありがとうが、
ちいさなおみせに おおきなぬくもりを はこんでくれました。

であえてよかったね、って、みんなのところが そういっていました。



